

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 企業誘致課 企業誘致係 電話番号：058-272-8372

E-mail：c11342@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000千円（前年度予算額：3,000千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県はこれまでも外資系企業の誘致に取り組んできたが、本県単独での誘致活動には限界があり、国際的にPRできる機会が少ないため、世界から優れた企業・技術やヒト・情報を呼び込むには、中部圏との広域連携の中での取組みが重要となる。

(2) 事業内容

「グレーター・ナゴヤ」統一ブランドの下、東海3県、名古屋市が広域連携し、対日投資・海外展開支援活動に取り組み、外資系企業による対日投資及び地域内企業の海外展開を促進するため、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会に対する活動費負担金を拠出する。

(3) 県負担・補助率の考え方

対外浸透力を強め、産業集積としての強さ・特性等を効果的にアピールする手段として、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
その他	3,000	【負担金】活動費負担金
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・総合戦略

Ⅱ－3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

② AIやIoTを活用した第4次産業革命と成長分野への展開

(2) 他県の状況

愛知県、三重県、名古屋市においても、同額を計上予定。

(3) 後年度の財政負担

毎年、3,000千円負担予定

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

外資系企業のグレーター・ナゴヤ地域（岐阜県、愛知県、三重県）への投資促進を行なうとともに、同地域内企業の海外展開を促進することで、活力のある地域経済を創出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会として、目標値の設定を行っていないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

○GNI協議会として下記事業を実施

（1）対日投資促進事業

・バイエルン州及びバスク州政府とのオンライン政府交流

 昨年の「RBC in グレーター・ナゴヤ」の結果報告&来年度のミッション派遣に向けた意見を交換

・対GN地域投資促進オンラインセミナー

 ドイツ及びスペインの企業、政府関係者、大学、研究機関等に向けてのGN地域の魅力・投資促進の紹介

・外資系企業立上審査会（随時）

・対GN地域投資促進のためのPR（コンテンツ）の作成

（2）国際経済交流事業

・（5/15、6/11、7/9、7/21、8/7、8/24）国内研究会

（3）GNIブランド情報発信・広報活動事業

・ニューズレターの発行（随時）

・Website掲載（日本語・英語）（随時）

・GN地域PRパンフレットの発行

(前年度の成果)

<p>・令和2年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響により、当初予定していたドイツ・スペインミッション派遣を延期し、代替案として同国とのオンライン政府交流・対GN地域投資促進セミナーを開催し意見交換を実施、GN地域への投資の魅力をPRし、外国企業の進出の促進を図った。</p> <p>(2) 対GN地域投資促進のためのPRコンテンツ(動画)を作成し広く海外へ情報発信し、GN地域への投資の魅力をPRすることで、外国企業の進出の促進を図った。</p> <p>(3) GN地域に拠点を有する外資系企業、GN地域の国内企業にヒアリング調査を実施し、GN地域への投資促進に向けて検討すべき取り組み(必要な支援策等)を整理し、今後のGN地域への投資促進につなげるための調査分析を実施した。</p> <p>(4) 外資系企業のGN地域への進出立上げを支援し、2社が拠点を設置。</p> <p>(5) GN地域PRパンフレットを発行し、GN地域の世界を牽引するモノづくり企業、大学、研究機関を紹介、GN地域の魅力を発信することで、GN地域への誘致の促進が期待される。</p>	
--	--

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)</p> <p>○: 必要性が高い、△: 必要性が低い</p>		
(評価)	○	海外に対して当県の投資環境や県内企業のPRを行なうためには、当県単独での取り組みでは十分な訴求効果が得られない。国内随一の製造業集積地である「グレーター・ナゴヤ」の地域ブランドのもとで活動を行なうことが効果的である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>○: 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△: まだ期待どおりの成果が得られていない</p>		
(評価)	○	これまでに150社(R2.3時点)の外資系企業がグレーター・ナゴヤ地域に拠点を設置するなど相当の効果を上げている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>○: 効率化は図られている、△: 向上の余地がある</p>		
(評価)	○	平成30年度でGNIが発足して12年が経過するに伴い、GNI事務局が、対日投資促進事業のターゲット産業の変更をはじめとする主要事業の見直しを提案し、東海3県、名古屋及び経済団体による会議で了承された。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

負担金を始めとする活動財源が十分でないことから、焦点を絞った形での事業編成を行い、より効率的、効果的な活動を行なっていく必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

協議会構成団体と緊密に協議し、効果的な事業計画の策定に臨んでいく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	